

—「山の日」をつくろう—
全国「山の日」協議会 趣意書

日本は国土の7割近くを山地がしめる山の国です。日本人は、古くから山に畏敬の念を抱き、森林の恵みに感謝し、自然とともに生きてきました。山の恵みは清流を生み、田畑を潤してわが国を囲む海へと流れ、深く日常生活とかかわりながら、豊かな心をも育んできました。

私たちは、愛する日本に、国民の祝日「山の日」を制定することを提案してまいりました。「山の日」は山の恵みに感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことを銘記する日です。山々が身体の健康や心の健康に、欠くことのできない国民の財産であることを再確認し、山との深いかかわりを考える日にしたいと思います。

わが国の文化は、「山の文化」と「海の文化」の融合によって、その根幹が形成されたといわれます。しかしながら「海の日」は祝日とされているのに、対をなす「山の日」は除かれています。日頃「山」と親しんでいる私たちは、このことを極めて残念に思い、山がいつまでも心のよりどころであり続けるため、「山の日」制定に広く国民の理解を求めたいと考えます。

ご存知のように国民の祝日は、国民と国会が決めることがらです。その国会では、超党派の国会議員による「山の日」制定議員連盟の努力により、ようやく「山の日」を祝日とする法案が可決しました。2016年8月11日から施行されるものです。わたしたちは、地方自治体、各種民間企業、自然保護団体、学術団体、登山等野外活動団体など、山に係る広範な人々の力をひとつにして、全国「山の日」協議会への参画をお願いし、「山の日」制定からの各種活動を国民に働きかけたいと存じます。

富士山の世界文化遺産登録は、その文化、伝統、信仰、景観への憧れ、すぐれた芸術の創出など、様々な要素を世界が大切な財産と認めたからです。その一方で、山はいま多くの問題をかかえています。山林の荒廃、良質な水源・資源等の確保、各種開発と環境保全、動植物保護と適正管理、観光等地域活性化と適正利用、登山愛好者の遭難事故多発、東北の山々の除染など。将来を見据えた「山」のビジョンが求められています。

「山の日」制定が課題解決に向けた重要な契機になることを祈念し、みなさまの全国「山の日」協議会へのご参加を、心からお願いいたします。

全国「山の日」協議会 発起人一同